

Public Money (公共貨幣)の誕生とパラダイムシフト

《出版記念オンライン講演会のご案内》

主催：一般社団法人 公共貨幣フォーラム



講演：山口 薫
(Ph.D.)

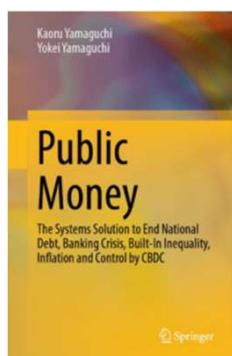
共著者：山口陽恵
(M.Sci)

一般社団法人公共貨幣フォーラムは、2025年2月26日にSpringerから出版された「Public Money」(山口薫、山口陽恵共著)の出版を記念し、オンライン講演会を開催いたします。

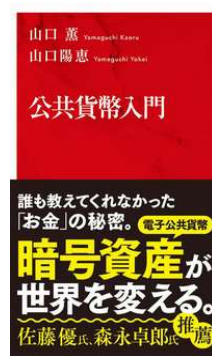
同書は、「公共貨幣 (2015)」「公共貨幣入門 (2021)」に続き、これら2冊をベースにした待望の新作です。この出版により、これまでは日本国内でローカルに流布していた公共貨幣という概念が、一気に世界的市民権を得ました。主流派・MMTに代わるマクロ経済学の新しい理論として、そのアカデミックな立場を確保しました。

《プログラム》

開会のあいさつ(5分)
山口薫博士による講演(50分)
質疑応答・自由討論(60分)
閉会のあいさつ(5分)



Springer (2025)



集英社インター
ナショナル(2021)

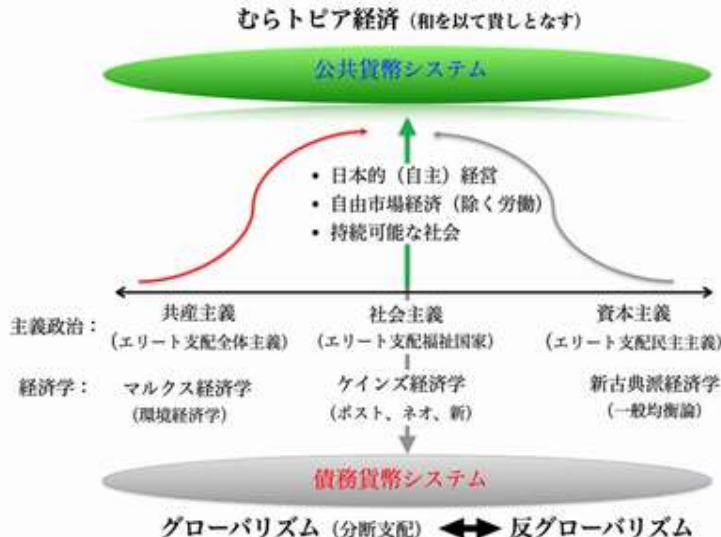


東洋経済新報社
(2015)

この講演会では、Public Money の誕生に関する秘話を紹介しながら、同書がなぜ約100年にわたる経済学のウソを暴き、そのパラダイムシフトをもたらすことになるのかを、同書15章の「むらトピア経済」の右図を用いて概観します。

公共貨幣は以下のような現在の日本社会が直面している経済・社会問題をシステムの的に解決する救世主となりうることを参加者の皆さんと一緒に共有できればと思います。

消費税は本当にゼロにできるのか、その財源はなぜ国債なのか / 積極財政で国債をさらに増発しても、MMTが主張するように財政破綻しないのか / 非正規雇用で労働者は奴隷のように扱われている。労働者は永久に賃金奴隷にされるのか / 株式会社は株主のものではない、社員・従業員のものではないのか / 日本の出生数は急減して昨年は70万人を割った。このままでは日本は消滅するのではないのか / CBDC (中央銀行デジタル通貨)の発行で、経済取引や決済の自由が監視され出すのか etc



《講演会概要》

テーマ：Public Moneyの誕生とパラダイムシフト
開催日時：2025年7月20日(日)午前10時～12時
開催方法：オンライン(Zoom使用)
参加費：公共貨幣フォーラム会員は無料
(一般：3,000円)

《申し込み方法》

お申し込みは、ピーテックスで受け付けております
<https://peatix.com/event/4449562>

一般社団法人公共貨幣フォーラム 事務局
Email: publicmoneyforumjapan@gmail.com
公式ホームページ: <https://public-money.jp/>